



将来のまちの姿『ひとに夢・まちに未来』

この提言を踏まえ、市民と一体となって、これからの守山、50年先のめざすまちの姿は、誰もが『ひとに夢・まちに未来』を描くことができる守山の実現です。これまで守山市が築き上げてきた「自然環境」や「教育文化」等の「豊かさ」をさらに追求していくとともに、まちの基盤となる「人」が輝くまちづくりを進め、まちへの誇りや愛着といった「シビックプライド」を醸成する、『豊かな田園都市』の実現を願います。

守山みらい懇談会委員 (敬称略・順不同)

委員名	
総括アドバイザー	河野 伊一郎 (倉敷芸術科学大学学長、元岡山大学学長)、 北野 宗道 (茶道裏千家名誉師範)
オブザーバー	山川 芳志郎 (守山市制施行50周年記念誌編集委員会委員長)、 伊藤 五作 (守山市制施行50周年記念誌編集委員会副委員長)
分野別	美しい水と緑のあふれる、秩序のあるまち (自然環境・都市づくり) 根木山 恒平 (碧いびわ湖守山支部代表)、田中 善秋 (玉津小津漁業協同組合長)、 金崎 いよ子 (びわこ豊稔の郷理事長)、 藤井 絢子 (菜の花プロジェクトネットワーク代表)
	伝統に学び、文化の香りたかいまち (文化・芸術) 山本 宗明 (守山市文化協会会長)、井上 建夫 (市民ホール総合プロデューサー)、 加藤 景子 (ピアニスト)、井上 ひろ美 (文化遺産プランニング代表)
	人権をおもんじ、信頼しあえるまち (地域・福祉・平和・人権) 金野 弘子 (市民参加と協働のまちづくり推進会議委員)、 廣田 加代子 (社会福祉法人慈恵会理事長)、 杉山 真智子 (NPO法人四つ葉のクローバー理事長)、 福家 育美 (車いすバドミントン選手)、福田 正悟 (守山野洲医師会監事)
	働く喜びを大切に、産業の栄えるまち (産業・活性化) 清原 大晶 (エンテラス・モリヤマ主宰)、廣瀬 香織 (chocomaka代表)、 北野 長和 (開発営農組合元代表理事)、上原 仁 (株式会社マイネット代表取締役社長)、 國枝 健一 (Rose Universe CEO)
	若い力をいかし、活気と希望に満ちたまち (教育・次世代育成) 松田 保 (滋賀県サッカー協会名誉会長)、小笠原 大輔 (もりやま青年団初代団長)、 村田 和哉 (プロサッカー選手)、大崎 永菜 (平成29年少年少女国連大使)、 寺田 好孝 (守山商工会議所青年部監事)



提言書本文



夢と希望に満ちた これからの守山

50年先の『豊かな田園都市』をめざして

提言にあたり

守山市は、1970年(昭和45年)に3万5千人余の人口で市制が誕生して以来、2013年(平成25年)には人口が8万人に、市制施行50周年を迎えた今、8月31日現在で8万4,078人と、8万5千人に迫ろうとしています。

このことは、『のどかな田園都市』を基本に、野洲川の大改修や将来を見据えた秩序ある都市計画の制定など、先人の知恵と努力、そして一つひとつの取組みの着実な積み重ねにより、「良好な自然環境」、「高い生活利便性」、「教育文化」などが醸成するまちとして、成長、発展を遂げ、守山の魅力とアイデンティティを築き上げてきたことによるものです。

全国的に人口が減少局面に入中、20年先の2040年の本市の人口展望は、8万8千人程度を見込んでいるものの、その後は減少に転じ、少子高齢化による地域社会や行財政の改革は避けて通ることはできないと考えます。

また、戦後75年を迎えた今、私たちは、あらためて戦争の悲惨さと平和の尊さを発信し続け、平和な社会を未来につないでいかなければなりません。

加えて、地球温暖化等の急激な気候変動に危機感を持ち、これまでの産業構造、交通体系、エネルギー、働き方、暮らし方等の見直しにより、持続可能な地球に転換する必要があります。

現在、新型コロナウイルス感染症が世界全体に感染拡大し、人類が経験したことのない未曾有の危機に直面する中、私たちは新しい生活様式を取り入れ、この困難を乗り越えていくことも求められています。

このような中で、守山みらい懇談会は、2020年(令和2年)7月1日、市制施行50周年という大きな節目にあたり、次の50年先の守山を見据え、本市がめざすべき将来像やまちづくり・ひとづくりの方向性について、本市に縁のある27名が、「夢を語ろう」と様々な角度から熱く懇談を重ねてきました。

懇談会における意見交換の進め方として、1980年(昭和55年)に制定された守山市民憲章に定める5つの分野別に、市の現状と課題を共有するとともに、夢のある将来像や、その実現に向けた守山ならではの個性、魅力、強みなどのキーワードを示し、「将来のまちの姿」について議論を深め、いきいきとした魅力あるまちが実現できるよう、具体的な取組みを提言としてまとめました。

“夢は成長と発展のエネルギー”です。

守山市が市制施行50周年を迎えた今こそ、次の新しい成長と発展のステージに飛躍できるよう、本提言の具現化により、市民の皆様が守山市に誇りや愛着をもち、市民一人ひとりが「住みやすさ日本一」を実感できるまちとなることを願います。



50年先の守山に向けた提言(ビジョン)

『豊かな田園都市』の実現

次の50年先の守山を見据え、守山市民憲章に掲げる『のどかな田園都市』を基軸としつつ、市民とともに一つひとつの取組みを積み重ねることにより、市民一人ひとりの心身の「豊かさ」、また、地球環境との共生、自然環境や教育文化等の「豊かさ」をさらに追求する『豊かな田園都市』をビジョンとして提案し、この『豊かな田園都市』をめざすための7つの取組みを提言します。

提言1 地球環境や豊かな自然との共生 ⇒

市街地でゲンジボタルが乱舞する美しい水環境、ホテルを通じて自然環境を大切に思う市民意識の高さは、守山を愛する心を育み、「住みやすいまち」に寄与しています。

幼少期から守山の豊かな自然環境に触れ合い、体験できる取組みを通じ、自然への感受性と共感する力を養い、「自然」と「人間」との共生のまちづくりに取り組むことが必要です。

また、地域に必要なエネルギーを地域のエネルギー資源によってまかなう持続可能な循環型社会の実現を目指し、守山から世界に向けて、地球環境や自然環境の保全の先進的な取組みを率先して実践・発信することが重要です。

ビジョン1 ホテルと花いっぱいのもち ⇒

- 〔提案〕
- ホテルの飛び交う水辺や森づくりの徹底
 - 花いっぱいのもちづくり(家庭や事業所等での花や緑を植える活動)
 - 琵琶湖・野洲川での自然探検
 - 自然環境の再生・世界のモデルとなる先駆的環境施策の取組み
 - 新環境施設を中心とした、SDGsの取組みによる持続可能な循環型社会の実現
 - 琵琶湖、野洲川、びわこ地球市民の森、自然のままでもい遊び場等の利用促進
 - 地産地消の再生可能エネルギーへの取組みの推進



提言2 豊かな文化・芸術との共生 ⇒

文化は豊かな人間性を涵養し、人と人を結びつける社会の基盤です。

火祭り、すし切り祭り、長刀祭り等に代表される守山の素晴らしい歴史と伝統文化を継承・発信するとともに、文化や芸術を磨き上げ、誰もが気軽に触れ、体験できる取組みにより、人が集い、守山の歴史、伝統文化、芸術を次世代につなげることが求められます。

また、社会環境の変化、グローバルな社会の中で、多文化との共生や寛容な心を育むことが必要です。

ビジョン2 文化の香り高いまち ⇒

- 〔提案〕
- 市民誰もが伝統文化・芸術に気軽に触れ、体験でき、地域で交流できる場づくり
 - 守山ならではの文化財・地域遺産の保存と活用、世界を惹きつける魅力発信
 - 多言語・多文化交流による共生や寛容な心の醸成
 - 世界に通じる芸術や芸術家が生まれる土壌づくり



提言3 多様な市民活動の創造 ⇒

本市は、高い自治会加入率に代表されるように、人と人の絆が強く、活発な市民活動が行われています。その一方で、地域活動等の担い手不足が顕在化しつつあり、学区や自治会、ボランティア団体をはじめとする様々な市民活動に、将来の担い手である若者を中心とした市民一人ひとりが主体性をもって積極的に参加し、活発に行動する環境整備が不可欠です。



ビジョン3 青少年赤十字精神による共助・互助のまち ⇒

- 〔提案〕
- 人権を尊重するまち、平和を尊重するまち
 - 青少年赤十字精神(気づき、考え、実行する)による共助・互助の推進
 - 学区・自治会活動、市民活動、ボランティア活動の活性化
 - 市民と市民、市民と行政等の間に立ち、多様な活動の主体をコーディネートする中間支援組織の立上げ
 - 「コミュニティカフェ」や「子ども食堂」等、様々な世代がつながり、活躍できる居場所づくり
 - 若者バンクによる積極的にチャレンジする人材育成や担い手づくり
 - 様々な団体や若者が輪となってつながり、交流できる場づくり

提言4 魅力ある働く場の創造 ⇒

本市は災害の少なさ、交通アクセスの良さ、豊富な水資源等に恵まれた都市機能を有しており、この魅力を活かし、地元企業の後継者や起業家の情報交換会「エンテラスモリヤマ」をはじめ、起業家の交流が進んでいます。

守山市で生まれ育った人はもちろん、転入してきた人も、他市から働きにきている人も「住むなら守山」、「働くなら守山」と思えるまちづくり、守山で創業・起業し、活躍できる環境を創ることが必要です。

ビジョン4 女性起業 No.1 のまち ⇒

- 〔提案〕
- 「教育」×「自然」×「企業」の組み合わせで、女性起業No.1を目指す
 - ICTの活用等を促進するとともに、若者、子育て世帯等の起業・創業を段階的にサポートする
 - テレワーク等を活用した、時間や場所にとらわれない「多様な働き方」の促進
 - 守山版緑の産業革命(企業の変革、大麦ストローや淡水真珠の再生等による循環型産業の創出)
 - 転入者向けのウェルカムパーティーの開催

提言5 子育てを楽しむ ⇒

本市では、妊娠前から学齢期まで切れ目のない支援を行う「新・守山版ネウボラ創造プロジェクト」や、地域・ボランティア団体等による様々な子育て支援の取組みがあります。

情報化、グローバル化の進展や、急速な少子高齢化の進行など、子どもを取り巻く環境が激変する中、未来の守山を担う子どもたちが心豊かにたくましく、心身ともに成長し、安心して結婚、出産、子育てができるよう、家庭・地域・行政・学校園等が連携して、これまで以上に切れ目のない支援を推進するとともに、世界に通用できる自立した個人を育てる教育の推進が必要です。

ビジョン5 子どもの成長を大切にするまち ⇒

- 〔提案〕
- 子育て家庭を地域で支える取組みの充実
 - 守山の豊かな自然や文化を活かした体験や経験(冒険)の仕組み、環境づくり
 - 子どもたちへの個性や可能性を伸ばす教育の推進
 - 世界に通用するよう自立した個人を育てる教育の推進(グローバル教育の推進)



提言6 読書を楽しむ ⇒

「本と人が出会い、人と人がつながる知の場」として整備された新図書館は、多くの方の利用がみられます。読書は、多様な文化や世界に触れることで視野を広げ、言葉・感性・表現力・創造力を豊かにする重要なものであり、新図書館を中心に、深く読書に関わることができる取組みをさらに推進していくことが重要です。



ビジョン6 読書日本一のまち ⇒

- 〔提案〕
- 読書日本一のまちづくり
 - 絵本の読み聞かせボランティア等の読書団体との連携
 - 新図書館で様々な世代が一日中楽しめる仕組みづくり
 - 北部図書館の整備
 - 図書館や学校における多種多様な本の充実
 - 子どもが主体的に読書に関わることができる仕組みづくりの推進
 - 地域・家庭との連携による読書活動の推進
 - 小中学校への学校司書の積極的な配置による読書指導、情報活用能力育成の支援

提言7 遊び・スポーツを楽しむ ⇒

本市には、公共スポーツ施設のほか、民間事業者が運営する各種スポーツ施設等、多様なスポーツ施設が充実しています。市民自らが生涯にわたってスポーツや運動を行い、健康で活力に満ちた社会の実現を図ることが重要です。

環境学習都市宣言記念公園交流拠点施設をはじめとするスポーツ施設を「健康増進や交流の拠点」とし、「遊び」や「スポーツ」を通じ、様々なことを体感することで、高齢者の生きがいづくりや健康増進、また子どもたちの健全な育成を図り、自ら考え、行動する、まさに「文武不岐」の精神に基づく人づくりが求められます。

ビジョン7 遊び・スポーツで人が輝くまち ⇒

- 〔提案〕
- 子どもの遊び場の確保
 - 市民が気軽に参加できるスポーツイベントの開催と、誰もが取り組むことのできるユニバーサルスポーツの普及促進
 - 遊びや運動、スポーツを通じた仲間づくりや健康づくりによる人材育成
 - 「サッカー王国守山」の再生と「夢スタジアム」の実現

